



みんなの病院探検

5病棟



5病棟は重症心身障害児・者病棟で、言葉でコミュニケーションをとることが難しい患者さんが入院されています。そこで働くスタッフは「患者さんの様子がいつもと何か違う」を見逃しません。いつもの状態を知って共有できているからこそ気づけることがたくさんあります。こんな素敵な感性を持ったスタッフが日々の生活を支えています。長期間入院されており、ひとりひとりの障害は様々ですが、それぞれの持っている力を最大限引き出す関わりを心がけています。学校へ登校すること、季節の行事や人生の行事の機会を大切にしています。そして、メリハリのある生活を送ってもらえるように絵本を読んだりもしています。今後も医師、看護師、指導員、保育士、療養介助員、看護助手のみなで、少しでも快適に過ごせる場を提供できるよう努めていきます。(5病棟看護師長 須藤 鈴佳)

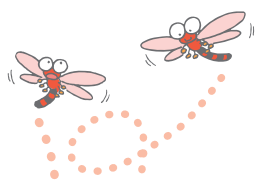


今回は 外来 です

5病棟の生活のひとコマ

今年も暑い夏でした。以前ニュースで、「今年も秋はやってきません。気温が高い日がしばらく続きます。」と言っていました。日本の四季はどこへいってしまったのでしょうか…。まだまだ暑い日が続きそうです。くれぐれも体調には気をつけてこの暑さを乗り切ってください。

さて5病棟では、9月のギャラリー作品として「とんぼ」の制作をしています。患者さんには、絵の具を使って合わせ絵を楽しんでもらっています。その合わせ絵がとんぼの羽や体の一部になり、それぞれのとんぼが出来上がります。みんなで作ったとんぼたちは、売店から病棟へと続く廊下の「やまぼとギャラリー」に飾ってあります。ぜひご覧くださいね。

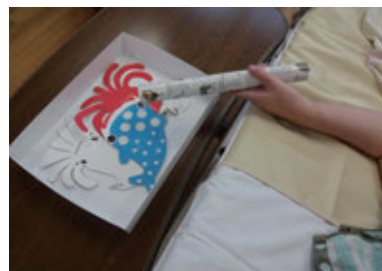


(児童指導員
平田 真理子)

通所支援事業のひとコマ

9月になりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いています。引き続き水分補給や休養をしっかりと、この残暑を乗り切ってください。

さて先日、通所支援では「魚釣り」を楽しみました。夏休みデイをご利用の学籍児さんも交えて、皆さん久しぶりの挑戦ということもあり、気合は十分！ジンベイザメやタコなどさまざまな魚が泳いでおり「どれを狙おうかな〜？」と悩んだり、釣り竿をしっかりと持って狙った魚を真剣な表情で釣り上げようとする利用者さんの姿がみられました。やや苦戦する方もみえましたが、何度か挑戦してようやくお魚をゲットすることができ「やったー！見て見て！」と釣った魚を嬉しそうに見せてくれました。夏らしい素敵な思い出を作ることができました。



(児童指導員 森 日奈子)